

「幕末維新期の志士と 民衆から学ぶもの」



講演会

講師紹介

桂島 宣弘教授

(かつらじまのぶひろ)

立命館大学
文学部 日本史学専攻教授

岩手県出身。立命館大学文学部教授。専門は日本近世思想史・民衆思想史。

1979年 立命館大学文学部日本史学専攻卒業。

1994年「幕末民衆思想の研究」で立命館大学から博士(文学)の学位を取得。



会場 越谷コミュニティセンター
埼玉県越谷市南越谷1-2876-1

JR武蔵野線 南越谷駅
東武スカイツリーライン 新越谷駅)徒歩3分

会費 **7,000円**

2013年度以降の卒業生は
5,000円

タイムスケジュール

講演会 12:00 ~ 13:00

総会 13:00 ~ 14:00

懇親会 14:00 ~ 16:00

彩の国・校友の集い のご案内

第28回
総会・懇親会

今年は京都二条城で大政奉還されてから150年の節目だそうです。明治維新での志士の動きは多少理解されていても、庶民＝民衆はその時代どんなことを思い、何を考え生活していたのでしょうか？激動の時代から学びたいと思います。

第28回総会・懇親会

彩の国・校友の集い

2017年11月11日(土)

12:00~16:00 (受付: 11:30)

埼玉県内にお住まいの校友の皆様、お元気にお過ごしのことと存じます。今年も一年間の活動報告と総会の時期を迎え、ご案内を申し上げます。ご多忙のこととは存じますが、是非足をお運び戴き、老いも若きも集う交流の場にお越し下さい。心からお待ち申し上げております。

この一年間若い後輩の動きも引き続き行われ、我々も良い刺激を受けて活動を続けることができました。これも皆様からの会費の支えでできること、深く感謝申し上げます。この会報を皆様へのご報告とさせていただきます。

母校立命館大学は昨年、大阪茨木市のいばらきキャンパスに総合心理学部を創設、更に来年4月には食マネジメント学部が新設され、15学部の総合大学となります。また、同時に大学の国際化を目指し、アメリカ、オーストラリアの大学との提携を強化する方向に向かっています。

発展していく大学の学生をサポートすること、未来の日本の若者をバックアップすることを目的に「校友会未来人材育成基金」が設立されています。日頃その応募に関し、ご協力戴きありがとうございます。昨年本誌の「在校生の紹介」で投稿してくれた児山一樹さんはその基金を受給され、海外での活動に参加、大きく成長できたとのレポートを送ってくれました。未来に向かって羽ばたく若者を我々の手で少しでも支えて行けるよう引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

2019年に立命館大学校友会は創立100周年を迎えます。その年は我々、埼玉県校友会も30周年を迎えます。その年までに県校友会としても目標を立て、それを達成することで交流と活動を活発化していきたいと考えています。今後共皆様のご協力を切にお願いする次第です。

申込み方法

出席を希望される方は右記のいずれかの方法よりお申し込みください。

① 埼玉立命ホームページ「参加申し込み」のページから申し込む。

② 裏表紙のFAX送信票に必要事項を記入し、立命館大学東京キャンパスまでFAXする。

第27回「彩の国・校友の集い」

緒方 仁 (1969・経営)



2016年11月12日(土)東天紅JACK大宮で、第27回「彩の国・校友の集い」総会・懇親会が開催されました。当日は埼玉県内の校友23名に、大学関係者や近県校友会の役員の方々の御来賓と合唱団のメンバーを含め、全員で46名の参加者がありました。

最初に、小玉秀生会長の挨拶後、立命館大学政策科学部の上久保誠人教授による「英国のEU離脱の影響と今後の展望」の講演がありました。英国のEU離脱が同国の政治・経済にどのように影響するか、そして世界情勢がどのように変化するか、タイムリーな興味深い話を時間延長して講演して頂きました。

総会では、学校法人立命館副総長・

及び2016年度活動計画・予算計画が報告され、全て承認されました。

次に、埼玉立命ユースの加藤慎一リーダーから、埼玉県校友会の校友会未来人材育成基金の現状について説明があり、母校と後輩の未来を支える協力を呼びかけました。総会終了後は、参加者全員で集合写真を撮りました。

引き続き開催された懇親会では、神奈川県校友会・野口邦夫会長よりご祝辞をいただいた後、橋本豊英顧問の乾杯で始まりました。

また、混声合唱団メディックスによる素晴らしい歌声が披露されたほか、全員着席の各テーブルでは、料理を楽しみながらの昔話やテーブル単位のクイズゲームで大いに盛り上がりました。

懇親会の最後は、同じ学部出身者ごとの記念写真を撮り、恒例となっている茨城県校友会・木山秀一幹事長による力強い応援演舞に合わせて、全員で立命館大学応援歌を斉唱しました。会の最後は、鈴木昌治副会長の挨拶で閉会となりました。

今回は、プログラムの進行上、時間的な面でも少々の問題も発生しましたが、皆様の協力で無事終了することが出来ました。

今年は2017年11月11日に「彩の国・校友の集い」が開催されます。立命館大学の活躍が多方面でも報道されていますので、多くの校友に集まっていますので、多くの校友に集まっていますので、今後とも総会・懇親会が盛り上がることを願っています。

次回

2017年 第28回
「彩の国・校友の集い」
総会・懇親会のお知らせ

今年は11月11日に開催されます。
詳細・お申し込み方法は一面をご覧ください。
ご参加をお待ちしております。

清龍酒造見学・きき酒



新緑も映える2017年5月20日(土)JR蓮田駅に午前11時に集合の後、5月とは思えない程の暑い中を約20分歩いて目的の酒蔵に向かいました。12時半から酒蔵に入って、麴が発酵して美味しいお酒の出来まで説明を聞いて、麴を口の中で噛んで甘みを感じ、お酒の知識を身につけて、きき酒の会場へ移動しました。

きき酒の会場に埼玉県校友からは、余人も疑わない立派な?呑兵衛七人衆? (小玉・緒方・鈴木・作田・伊藤・

岡田・諧)が集いました。

なにしろ最低五合は呑んで貰いますからという清龍酒蔵の社長の訓示の下に、120名余の老若男女が集って酒宴に移りました。

お酒は大吟醸の他に7種類の辛口・甘口が用意され、料理は小ぶりですが季節料理の膳で、なかなか目も楽しませてくれるものでした。

専属バンドの若い彼、彼女たちの盛り上げの中で3時間近く色々なお酒を追加で呑むことが出来ました。呑兵衛にとっては、至福の時になりました。おまけに大きな魚の解体ショーなるものもありました。今回は立派なカンパチとか。これで握った寿司が全員に振る舞われて、酔っ払った私たちを含め会場の皆さんもエビス顔になっていました。

しかしなんといっても今回のハイライトは作田さん。リズムカルな生BG

諧 隆雄 (1971・経営)

Mで若い人達(お客さん)が両手にチアガール風の飾りを持って踊り始めたのですが、一緒に踊りの作田さんが主役。皆さん大いに笑顔、とても盛り上がった楽しい酒蔵見学・きき酒会となりました。

私、本拙文寄稿の諧はこの小さな町、蓮田に棲息(両生類風に)しているのですが、当地には他にもいいお酒の酒蔵がありますので、呑兵衛を自認される方もそうでない方も、ぜひ蓮田の町へ。



▲呑兵衛七人衆 清龍酒造前にて

埼玉立命ユース紹介

リーダー
加藤 慎一 (2010・産社)

サブリーダー
佐古 稔英 (2012・経営)



▲ ボウリング大会の様子



▲ 埼玉県校友会でのお花見

埼玉県校友会では、若者・女性の参加を促進する目的で若手の中心のグループ「埼玉立命ユース」を2013年に結成いたしました。これは埼玉在住の卒業10年目までの皆さんに広く参加いただき、校友会活動に興味を持ってもらうと同時に、今後の活動に積極的に参加いただくきっかけとするためのものです。

これらの活動を行う上で、Facebookにて「埼玉立命ユース」のページを開設し、イベント告知や活動報告などの発信をおこなっています。また、イベント開催時には校友会本部補助金等を

活用させていただき、主に金額面において若者がより参加しやすい環境づくりに努めているほか、リコネクト東京のイベント開催時には埼玉県校友会の若手に声掛け活動をおこない、校友会とリコネクトの関係強化にも努めています。今年は、初の試みとして「ボウリング大会&BBQ」を千葉県校友会と合同開催しました。このイベントは、毎年7月中旬に埼玉県校友会で行っているもので、今回は千葉県校友会から藪内副会長を始め先輩4名と若手1名、埼玉県校友会からは先輩5名と新婚の佐古夫婦を含めた若手7名、総勢17名が参加。豪華景品をかけたボウリング大会の後、表彰式を兼ねた大バーベキューパーティーとなりました。ジンギスカン食べ放題、お酒も飲み放題で大いに盛り上がり、最後は個性あふれる

自己紹介で和気あいあいのうちにあったという間に終わりを迎えました。枠を超えてタテ・ヨコでつながることで、「立命館大学校友会」としてもより強固な組織になっていくと感じています。

埼玉県校友会は、非常にアットホームな会です。人数だけで見ると大人数の校友会ではありませんが、50歳以上の年齢差があるにもかかわらず、まるで同世代の集まりであるかのようにいつも笑いが絶えません。これも、若手を快く受け入れていただける先輩方がいるからこそだといつも感じています。

最後に、校友会の中で企画の立案から実施までを経験できることが、我々ユースメンバーにとって大きな財産になっています。我々が校友会の中で積極的に活動していくことは、間違いなくこれからの新しい校友会活動の一步

となります。5年後、10年後の校友会を活発なものとするために今後も絶対に必要なことであると考えています。今後も様々な企画を開催し、埼玉県校友会の発展を目指して活動して参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



▲ オール立命館校友会大会2016in金沢にて



▲ クリスマスパーティー2016



▲ スキー・スノボ合宿の様子

AEE ALL Equipments for Education
代表取締役社長

常田 幸正
(1961 文)

株式会社 文施総研・文教施設総合研究所
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7 神田中央ビル
TEL. 03-3512-2421 / FAX. 03-3512-2422
E-mail: tsuneda@onsa-ae.jp (office)
JZT02140@nifty.ne.jp

小玉 秀生
(1968 文)

緒方 仁
(1969 経営)

校友紹介 ^{なか お} 中尾 明久様 150歳の輪行

^{あき ひさ} 明久様 昭和34年法学部卒業

青春

青春とは 人生のある期間ではなく
 心の持ち方を言うのである
 年を重ねただけで人は老いない
 理想を失うとき初めて人は老いる
 米国詩人 サムエル ウルマン

私は5、6年前ある新聞のコラムでこの詩を眼にし、非常に興味を抱き、毎年、新しい年の手帳に書き留めております。

今から10年前、73歳で運転免許証を返納し、当初は不便を感じましたが事故など起こして人様に迷惑をかけることだけではなく、心に大きな余裕が生まれた矢先、家内から自転車を利用したらと提案され、気軽に便利に用が足せることに満足し、愛用し始めました。



▲ 稚内 間宮林蔵渡樺出港の地碑前で

2011年家内からサイクリング車を買って遠くに行きませんかとの再提案を受け、3月に米国ダホーン社製のサイクリング車を二台購入。これが私達の年齢を足すと150歳の新しい人生の始まりとなりました。初めての輪行は4月30日、浦和から熊谷経由で三峰口まで、そこから私共のサイクリング人生が始まりました。三峰口駅頭で自転車を組立、最初の一漕ぎ、秩父羊山公園では満開の芝桜を堪能し、その日の宿、長瀬へ。宿の夫婦は予約の際、伝えてあった年齢から半分は来ないだろ

うと思っていたようで大歓迎の一泊。翌朝、熊谷～東松山～川越～浦和と順調に楽しく予定の行程を走破出来ましたが、大変しんどい思いをしました。日にちが経つと辛かったことなど忘れ、楽しかったことのみが浮かび、次は房総半島二泊、千倉から始め友人宅により館山の休暇村で一泊、翌日は安房鴨川近くの太海の民宿へ、三日目は大山千枚田を見学、長狭街道の下り坂で最高時速47.7キロが出てビックリしながら房総半島横断を果たした。三回目は筑波山、四回目は尾道から名だたるしまなみ海道を渡り、大三島へ。平山郁夫美術館で幼年時代から各時代の絵画に触れる一時を楽しみました。

2012年7月西舞鶴から天の橋立を縦走、丹後半島の先端、伊根の舟屋へ、途中若い女性二人に写真を撮って頼まれる。聴くと台湾から立命館に留学中の学生、話が弾む。そして、岩国の錦帯橋、宮島、広島、呉から瀬戸内海を横断するとびしま海道を渡り、ニッカウヰスキーの創始者竹鶴さんの生家がある竹原迄等々、春秋の季節の良い時期の天気予報と相談しながら楽しみと苦難の連続ながら十数回走り回って来ました。

自転車旅行なので山坂は苦手です。湖なら良からうと浜名湖一周を計画。だが雨に降られ、おまけに私の車がバンクと重なる不運。霞ヶ浦は台風で一旦は中止したが、台風の進路がずれたため旅館を再予約。しかし湖の名物料理は漁が出来ないため、残念ながら海の魚だった。

最後は琵琶湖一周で締めようと決めていた。2016年3月27日、東京駅7時33分発のひかり号で輪行。9時45分米原着、自転車を組立、国道八号線経由でさざなみ街道を北進、羽柴秀吉所縁の長浜



▲ 桜島にて

城公園、姉川を渡り琵琶湖最北端の山岳地帯近江塩津を越え西岸へ出る。走り出して65キロ安曇川近辺に今日の宿があるはずが見当たらない。自転車に乗った女子大生に尋ねると、スマホを取り出し、簡単に見つけ教えてくれた。翌日は交通量の多い道中になるので気を引き締め近江八幡駅前のホテルを目指した。近江舞子・浮御堂・唐崎の松・瀬田の唐橋を渡り、東岸へ出て自転車専用道を一目散に快走、くたくたになり自転車ゲージをみると92.65キロ。三日目は近江商人の街並みを見物しながら、安土城跡に立ち寄り、彦根城を見学、私達二人和して160歳の自転車旅行5年間の楽しかった幕を閉じえたことは何よりも幸せなことだと感謝しています。



鈴村 泰男
 (1969 経営)

清水 哲雄
 (1971 理工)

伊藤 貞夫
 (1975 経営)

在校生紹介 に わ け い た 丹羽 奎太 さん さいたま市出身 経済学部 国際経済学科 3 回生



貧困って、なんだろう。正しい貧困解決の方法って、あるのだろうか。本気でこれを考え始めたのは、入学後でした。さい

たま市で暮らし、水泳に打ち込んでいた時は、貧困に対する先進国の人々の「助けてあげたい」という上からの『エゴ』が透けて見え、貧困に対し、良い印象を持っていませんでした。

しかし貧困問題は、対等な立場としての貿易やビジネスを通じた解決に昇華されてきています。私はここに注目し、経済学から貧困を分析し、解決の糸口を見つけたいと考え、経済学部への進学を決めました。

入学後、机上の分析だけでは不十分だと考え、「+R個人奨励奨学金」を利用して単身インドにて1か月間滞在しました。この奨学金は、選考を経て、意思を持って活動を始動する学生に活動資金を提供して頂けるもので、この奨学金のおかげで私の人生は確実に変革しました。

この目で見た貧困の現状は、筆舌に尽くし難いものでした。3畳ほどの家に暮らす家族や下水で汚された真っ黒な川など、むきだしの貧困がそこには存在していました。しかしそれ以上に、そこに暮らす人々の幸せそうな笑顔が大変印象的でした。目前の問題と対峙しつつ、協力し合って、日々を楽しく懸命に生きる姿が、私の中の貧困の定義を歪めました。

帰国後、フィリピンやインドネシアにも赴き、各国で異なる貧困の原因を

探りました。さらに、貧困をより深く研究したいと考え、研究所のある英国の大学の入学試験を受け、合格しました。しかし、編入学を思いとどまったのはゼミの存在でした。

私の所属する大野敦ゼミは、国際政治経済学を学び、年に1本論文を執筆します。学問の基礎となるロジックの組み立て方をベースとして学び、毎週議論を行います。世界の複雑に絡み合った問題を分析しうる力を身につけられるこのゼミは、社会でも役立つと確信しています。

今後は、より深く世界経済や貧困を理解するために、今秋から英国大学へ交換留学をし、その後、大学院への進学を考えています。私の学生生活を大きく変えてくれた「+R個人奨励奨学金」は、「校友会未来人財育成基金」が原資となっていると知り、寄付して

いただいた校友の皆様に変感謝しています。立命館大学で学んだ思考力や経験を生かし、貧困問題に献身し、世界に貢献できる人材になれるよう、努力を続けていきたいです。



ボート部創部70周年記念祝賀会に参加

2007年8月から埼玉県校友会は県内の戸田ボートレース場で開催されている全日本ボート大学選手権大会（通称インカレ）をボート部OB東京支部の皆さんと一緒に現役学生を応援して来しました。その立命館大学ボート部が昨年創部70周年を迎え、びわ湖大津プリンスホテルで11月26日（土）に記念式典・祝賀会を開催するとの招待状が埼玉県校友会に届き、会長が埼玉県校友会を代表して出席しました。

また、校友の大熊さんもここ十数年来、学生諸君の活躍するボート競技の写真撮影を自発的に引き受け、広いボート会場を右左と動き回り写真を撮りまくる活躍で歴代の学生諸君、OBの皆さんとも交流を続けていたことでの招待でした。

午後4時半から始まった記念式典で

は吉田総長の「文武両道を目指す立命館の力になれ」との祝辞、日本ボート協会大久保会長の「立命ボートクルームも2020年の東京オリンピックを目指せ」との祝辞があり、功労者表彰、記念撮影がありました。祝賀会は川本名誉顧問の逸話を含んだ乾杯挨拶があり、一コマエピソードで笑いが起こり、会食が始まりました。

その後現役部員コーチの紹介、応援団演舞、全員肩車をして応援歌斉唱、最後は琵琶湖周航の歌を合唱し、ボート関係者50名、現役学生30名OB130名、総勢210名が集う和やかな祝賀会を午後7時前に閉じました。

埼玉県校友会としては、今後もボート部現役学生の応援

することで母校の活躍、発展の一助を期し、またOB同士の交流の輪を拡げて行こうと思います。オールが綺麗に揃い遥か遠くから向かってくるボートに一喜一憂し、残り500mからのデッドヒートをご覧に戸田公園駅に足を運んでみてください。現役学生の活躍を応援していきましょう！



▲ 総勢210名の盛大な記念式典

2017年度 役員名簿

名誉顧問	1951 法 丹羽尊照	1953 経済 曾田豊吉	1955 理工 太田八郎
顧問	1956 理工 岡島由雄	1960 経済 橋本豊英	
相談役	1965 法 西垣義明	1961 文 常田幸正	
会長	1968 文 小玉秀生		
副会長	1977 経営 鈴木昌治	1981 経営 内野生朗	
幹事長	1969 経営 緒方仁		
副幹事長	1983 文 上條比呂志	1987 理工 田中正三	1988 産社 櫻本哲郎
会計	1987 文 伊佐由美子		
監事	1963 法 川添修司	1969 経営 豊岡雅範	
常任幹事	1960 経済 山本孟人	1963 法 永倉素子	1967 理工 金原政敏
	1969 経済 梶島康夫	1969 経営 鈴木泰男	1970 理工 太田坦
	1971 理工 木敷和彦	1971 理工 清水哲雄	1975 経営 伊藤貞夫
	1981 理工 中尾陽	1990 経済 鐘田浩士	2009 経営 山本博基
	2010 産社 加藤慎一	2012 経営 佐古稔英	
幹事	1959 法 新井勝	1959 理工 下野均	1960 理工 北川英雄
	1963 理工 上田勝	1968 経営 鬼木義明	1968 文 五井章雄
	1971 産社 上林山秀孝	1971 文 真部はるみ	1971 法 横田高弘
	1972 経営 八代裕昭	1977 産社 大熊章一	1985 理工 多田浩之
	2003 経営 田本淳治	2011 経営 大倉淳	

埼玉立命ユース

リーダー	2010 産社 加藤慎一
サブリーダー	2012 経営 佐古稔英

	西支部	中央支部	東支部
支部長	1971 理工 清水哲雄	1969 経営 鈴木泰男	1981 理工 中尾陽
副支部長		1987 文 伊佐由美子	
構成市町村	朝霞市	入間市	川口市
	ふじみ野市	川越市	戸田市
	坂戸市	狭山市	鳩ヶ谷市
	志木市	鶴ヶ島市	蕨市
	所沢市	新座市	さいたま市
	飯能市	東松山市	伊那町
	日高市	富士見市	上尾市
	和光市	越生町	桶川市
	三芳町	毛呂山町	三郷市
	小川町	川島町	吉川市
	ときがわ町	滑川町	杉戸町
	鳩山町	吉見町	鷲宮町
	嵐山町	秩父市	駒西町
	小鹿野町	長瀨町	白岡町
	東秩父町	皆野町	
	横瀬町		
			春日部市
			久喜市
			越谷市
		幸手市	
		草加市	
		蓮田市	
		八潮市	
		栗橋市	
		松伏町	
		宮代町	

2016年度 埼玉県校友会活動報告

2016年	
4月 3日	日 花見大会 (大宮公園)
15日	金 第10回 ゴルフ大会 (大宮ゴルフコース)
23日	土 第1回 幹事会
5月 28日	土 歴史散歩・妻沼聖天山 (熊谷)
6月 4日	土 立命館大学校友会幹事会 (OIC)
11日	土 第2回 幹事会/会報誌「埼玉立命」編集会議
18日	土 新人歓迎会 (リコネクト)
7月 23日	土 第7回 ボウリング大会 (浦和)
8月 21日	日 全日本ボート大学選手権大会 応援
9月 10日	土 第3回 幹事会/会報誌「埼玉立命」発送
10月 15日	土 第11回 ゴルフ大会
22日	土 第4回 幹事会
29日	土 オール立命館校友大会2016 in 金沢
11月 12日	土 「第27回彩の国・校友の集い」 総会・懇親会
26日	土 立命館ボート部70周年記念式典 出席
12月 3日	土 「クリスマスパーティー2016」 埼玉立命ユース
2017年	
1月 7日	土 与野七福神巡り
21日	土 第5回 幹事会/埼玉立命 2017年新年会
2月 25日	土 全国都道府県校友会代表者会議
3月 11日	土 第6回 幹事会

2017年度 埼玉県校友会活動予定

4月 2日	日 花見大会 (大宮公園)
22日	土 第1回 幹事会
5月 11日	木 第12回 ゴルフ大会 (東松山カントリークラブ)
20日	土 清龍酒造 酒蔵見学 (蓮田)
6月 3日	土 立命館大学校友会幹事会 (朱雀キャンパス)
10日	土 第2回 幹事会/会報誌「埼玉立命」編集会議
17日	土 新人歓迎会 (リコネクト)
7月 22日	土 第8回 ボウリング大会 (浦和スプリングレーンズ)
8月 5日	土 戸田花火大会 (埼玉立命ユース)
31-3日	土 全日本ボート大学選手権大会 応援
9月 1日	金 新都心ビール祭り
2日	土 第3回 幹事会/会報誌「埼玉立命」発送
10月 14日	土 第4回 幹事会
21日	土 オール立命館校友大会2017 in 京都
11月 3日	金 第5回 幹事会
11日	土 「第28回彩の国・校友の集い」 総会・懇親会
12月 9日	土 クリスマスパーティー2017 (埼玉立命ユース)
2018年	
1月 20日	土 第6回 幹事会/埼玉立命 2018年新年会
2月 3日	土 スキー・スノボ合宿 (埼玉立命ユース)
24日	土 全国都道府県校友会代表者会議
3月 10日	土 第7回 幹事会

公認会計士
鈴木 昌治
 (1977 経営)

有限責任監査法人トーマツ
 〒100-6211 千代田区丸の内1-11-1 PCPMビル
 TEL. 03-6213-1010

内野 生朗
 (1981 経営)

株式会社浦野設計

上條 比呂志
 (1983 文)

東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12
 TEL. 03-3811-9128 / FAX. 03-3811-9582
 E-mail: h-kamijou@urano-s.jp
 URL: http://www.urano-s.co.jp

2016年度収支報告書および2017年度収支予算書（案）

(2016年4月1日～2017年3月31日)

(2017年4月1日～2018年3月31日)

(単位:円)

(収入の部)				(支出の部)			
	2016予算額	2016実績額	2017予算(案)		2016予算額	2016実績額	2017予算(案)
年会費収入	195,000	147,000	180,000	定期総会費用	378,000	443,882	455,000
定期総会・会費収入	185,000	152,000	240,000	印刷・通信費	342,000	335,952	350,000
寄付金収入(支援金を含む)	180,000	233,000	250,000	総会関連	(230,000)	317,869	
校友会本部活動費補助	170,000	120,000	170,000	ユース活動	(102,000)	0	
				その他	(10,000)	18,083	
				慶弔費・交際費	85,000	110,000	80,000
広告収入	130,000	110,000	120,000	幹事会費	5,000	1,490	5,000
				支部・イベント活動支援費	50,000	36,562	70,000
雑収入	0	26,195	0	雑支出	0	0	0
本部交通費補助		193,940	0	全国会議等交通費	0	193,940	0
小計	860,000	982,135	960,000	小計	860,000	1,121,826	960,000
前期繰越金(現預金)	586,803	586,803	447,112	次期繰越金(現預金)	586,803	447,112	447,112
合計	1,446,803	1,568,938	1,407,112	合計	1,446,803	1,568,938	1,407,112

伊佐 由美子
(1987 文)

エクセルアート株式会社

代表取締役社長

榎本 哲郎
(1988 産社)

〒104-0043 東京都中央区湊1-1-16
TEL. 03-3552-2201 / FAX. 03-3552-2271
URL http://www.excelart.co.jp/

「活動報告」「参加申し込み」
などの詳細は埼玉立命のHPIに出て
います。ぜひご覧ください。

埼玉立命

検索

→埼玉原校友会年会費・支援金用払込用紙です。

02 東京		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担											
口座記号番号						金額											
0	0	1	2	0	7	1	5	7	9	3	6						
加入者 立命館大学 埼玉県校友会						料金		備考									
※ お振込金の内訳 年会費 3,000円 支援金 1,000円 × 口 合計 円																	
通信欄 昭平 年 学部 卒 専門 科 退																	
ご依頼人 おとこ (郵便番号) おなまえ (電話番号)						日		様 附 印									

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第 52187 号)
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

001207		通常払込 料金加入 者負担			
口座記号番号		157936			
加入者名		立命館大学埼玉県校友会			
金額					
ご依頼人		おなまえ			
料金		日 附 印			
備考					

この受領証は、大切に保管してください。

2016年度 校友会支援金 出資者名簿

- 30,000円 常田幸正
- 10,000円 小玉秀生
- 8,000円 橋本豊英
- 7,000円 鐘田浩士、永倉素子
- 5,000円 伊藤貞夫、小玉秀生、鈴木昌治
- 3,000円 岡田英治、川添修司
- 2,000円 浅田嘉明、榎本哲郎、岡田英治、金原正敏、上條比呂志、黒川賢一、佐藤悟朗、高木毅、多田利男、谷沢正巳、成田典昭、松岡直昭、眞殿晏武、眞部はるみ、蓑崎裕人
- 1,000円 川添修司、合田義弘、嶋村卓、下野均、白石太慶雄、竹澤敏夫、中牟田雅、中尾陽、松川奈月、若杉秀雄 (敬称略、五十音順)

2016年度 校友会年会費 納入者名簿

相澤紀史、浅田嘉明、伊佐由美子、伊藤貞夫、上原哲也、内野生朗、永倉素子、榎本哲郎、岡田英治、緒方仁、加藤慎一、鐘田浩士、金原正敏、上條比呂志、川添修司、黒川賢一、合田義弘、小玉秀生、作田英行、佐古稔英、佐藤悟朗、嶋村卓、清水優、下野均、白石太慶雄、鈴木泰男、鈴木昌治、高木毅、竹澤敏夫、多田利男、田中正三、谷沢正巳、常田幸正、豊岡雅範、中尾陽、中牟田雅、中野弘、成田典昭、橋本豊英、弘田稔博、廣田陽、松岡直昭、松川奈月、眞殿晏武、眞部はるみ、蓑崎裕人、八代裕昭、山本孟人、若杉秀雄 (敬称略、五十音順)

年会費・支援金の納入にご協力をお願いします。

年会費 **3,000円**
支援金 1口 **1,000円**
(何口でも結構です)

埼玉校友会誌「埼玉立命」の発行費用、ホームページの運営費、総会案内等の同封発送費等は皆様からの年会費・支援金によって支えられています。今後の校友会活動を継続させていくためにも、年会費納入による積極的なご支援をお願い致します。

埼玉県校友会・会長 小玉 秀生

FAX 送信票

※必要事項をご記入のうえ、10月24日までにお送りください。
FAX送信先: **03-5224-8189** (立命館大学東京キャンパス)

ご近況について、また校友会・会報へのご意見・ご要望をお聞かせください。

彩の国・校友の集いに
(いずれかに○をつけてください。)

出席 ・ 欠席

氏名	(旧姓)	卒業年次	西暦	年卒
〒		勤務先	学部	科
現住所		〒		
TEL		所在地		
E-mail		部課(役職)		

(ご注意)
 ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
 ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

通 信 欄

インターネットからでも振込できます。

- ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方で、かつゆうちょダイレクトの契約をされている方。
→オモテ面に記載の口座番号あてにお振込みください。
- 他の銀行(インターネット含)からお振込みされる場合
→以下の口座番号あてにお振込みください。

ゆうちょ銀行 ○一九店 (ゼロイチキョウ店) 店番: 019
 預金種目: 当座 口座番号: 0157936
 口座名: 立命館大学埼玉県校友会

※この用紙を使わずに上記の方法でお振込みされる場合は、必ず氏名の後に卒業年と学部をご記入ください。

← 総会・懇親会の会費は当日会場にてお支払いをお願い申し上げます。
埼玉県校友会年会費・支援金用振込用紙です。

収入印紙

課税相当額以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。